

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 | |
|------------|-------|------------|--|-----------|--------|-------------|------|----|----|--------|--|---|--|----------------------------------|
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 2004/09/03 | 40445 | 武田薬品工業株式会社 | ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風 混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド | ウシ肝臓 | ウシ肝臓 | オーストラリア | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/03 | 40446 | 武田薬品工業株式会社 | ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風 混合ワクチン | ウマ血清 | ウマ血液 | ニュージーランド | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/03 | 40447 | 武田薬品工業株式会社 | 乾燥痘そラワクチン 痘そラワクチン | ウシ皮膚 | ウシ皮膚 | 日本 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/03 | 40448 | 武田薬品工業株式会社 | 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン | 筋アデニール酸 | ウマ筋肉 | アメリカ合衆国 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/03 | 40449 | 武田薬品工業株式会社 | ワイル病秋やみ混合ワクチン | ウサギ血清 | ウサギ血液 | 日本 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/03 | 40450 | 武田薬品工業株式会社 | 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥まむし抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素 | ウマ免疫グロブリン | ウマ血清 | 日本 | 有効成分 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/08 | 40451 | 株式会社ベネシス | 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 人ハプトグロブリン 人血清アルブミン 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子 | ヘパリン | ブタ小腸粘膜 | | 製造工程 | 有り | 無し | 無し | クロイツフェルト・ヤコブ病 THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421 | ProMED, 20040527-1431 (Journal of General virology, 84, 1021-1031, 2003) | BSE病原体をブタに投与(頭蓋内、静脈内、腹腔内)したところ、69-150週で感染が確認された。一方、BSE感染の脳を餌として与えられ7年間暴露されても、ブタは感染しなかった。 | 英國で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。 |
| 2004/09/08 | 40452 | 株式会社ベネシス | 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子 人血清アルブミン | 人血清アルブミン | 人血液 | ①②⑤⑥日本、③④米国 | 添加物 | 有り | 有り | 有り | クロイツフェルト・ヤコブ病 クロイツフェルト・ヤコブ病 クロイツフェルト・ヤコブ病 アメリカ・トリパノソーマ症 重症急性呼吸器症候群 | Afssaps/communique de press 2004/2/1 THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 422-428 HHS, FDA/ 79th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/03/18 第73回日本寄生虫学会大会II-C-37 Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630 | 輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。 英國の事例について米国の専門家も輸血によりvCJDが伝播した可能性が高いと考えているが、現在の米国の供給量と政策を変更する必要はないとしている。 ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。 SARSで死亡した患者の、各組織からSARS-CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。 | |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用指針 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 | |
|------------|-------|----------|-----------------------------------|-----------|------|----------|------|----|----|--------|---------------|---|---------------|--|
| | | | | | | | | | | | | | 重症急性呼吸器症候群 | CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオリンの環境への残留はCWDや他のプリオリン起因病の制御を難しくさせるだろう。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオントンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。 |
| | | | | | | | | | | | バベシア症 | 日本輸血学会雑誌, 50(2), 203, 2004 | バベシア症 | 1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有のBabesia microti様原虫が存在し、不顯性感染者もいることが判明しつつある。 |
| | | | | | | | | | | | ウイルス感染 | ProMED-mail, 20040709_1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7) | ウイルス感染 | ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により脾臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血をうけたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたかどうかが明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフェレーシスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。) |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | EMEA/CPMP/BWP/2879/02/rev1, June 23 2004 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 2004年1月の会議結果を反映させた、CPMP Position statement on Creutzfeldt-Jakob Disease and Plasma-Derived and Urine-Derived Medicinal Products (2003年2月通知)の修正版。 |
| 2004/09/08 | 40453 | 株式会社ベネシス | ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン 人免疫グロブリン | 人免疫グロブリンG | 人血液 | ①日本、②③米国 | 有効成分 | 有り | 有り | 有り | クロイツフェルト・ヤコブ病 | THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 422-428 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かかった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Afssaps/communique de press 2004/2/1 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | HHS, FDA/ 79th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/03/18 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 英国の事例について米国の専門家も輸血によりvCJDが伝播した可能性が高いと考えているが、現在の米国の供給量し政策を変更する必要はないとしている。 |
| | | | | | | | | | | | アメリカ・トリバノソーマ症 | 第73回日本寄生虫学会大会II-C-37 | アメリカ・トリバノソーマ症 | ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。 |
| | | | | | | | | | | | 重症急性呼吸器症候群 | Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630 | 重症急性呼吸器症候群 | SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。 |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 |
|------------|-------|----------|------------------|-------------|------|-----|------|----|----|--------|---------------|---|--|
| | | | | | | | | | | | 重症急性呼吸器症候群 | Journal of Pathology, 2004, 203(2), 631-637 | SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臟器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 1003-1006 | CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオントン病の制御を難しくさせるだろう。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 | リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオントンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。 |
| | | | | | | | | | | | バベシア症 | 日本輸血学会雑誌, 50(2), 203, 2004 | 1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有のBabesia microti様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。 |
| | | | | | | | | | | | ウイルス感染 | ProMED-mail, 20040709, 1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7) | ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22 | vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により脾臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血を受けたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうかが明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフェレーシスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。) |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | EMEA/CPMP/BWP/2879/02/rev1, June 23 2004 | 2004年1月の会議結果を反映させた、CPMP Position statement on Creutzfeldt-Jakob Disease and Plasma-Derived and Urine-Derived Medicinal Products (2003年2月通知)の修正版。 |
| 2004/09/08 | 40454 | 株式会社ベネシス | 乾燥濃縮人血液凝固第VIII因子 | 血液凝固第VIII因子 | 人血液 | 日本 | 有効成分 | 有り | 無し | 有り | クロイツフェルト・ヤコブ病 | THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421 | 英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 422-428 | カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かかった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Afssaps/communique de press 2004/2/1 | 輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | HHS, FDA/ 79th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/03/18 | 英国の事例について米国の専門家も輸血によりvCJDが伝播した可能性が高いと考えているが、現在の米国の供給量と政策を変更する必要はないとしている。 |
| | | | | | | | | | | | アメリカ・トリバノソーマ症 | 第73回日本寄生虫学会大会II-C-37 | ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。 |
| | | | | | | | | | | | 重症急性呼吸器症候群 | Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630 | SARSで死亡した患者の、各組織からSARS-CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。 |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 | |
|------------|-------|--------------|-------------|------------|--------|------------------|------|----|----|--------|-----------------|--|---|--|
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 重症急性呼吸器症候群 | Journal of Pathology, 2004, 203(2), 631-637 | SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。 | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 1003-1006 | CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染源のプリオリンの環境への残留はCWDや他のプリオリン起因病の制御を難しくさせるだろう。 | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 | リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオントンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。 | |
| | | | | | | | | | | | バベシア症 | 日本輸血学会雑誌, 50(2): 203, 2004 | 1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有の Babesia microti 様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。 | |
| | | | | | | | | | | | ウイルス感染 | ProMED-mail, 20040709.1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7) | ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。 | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22 | vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により隣臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血を受けたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうかが明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフェレーシスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。) | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | EMEA/CPMP/BWP/2879 /02/rev1, June 23 2004 | 2004年1月の会議結果を反映させた、CPMP Position statement on Creutzfeldt-Jakob Disease and Plasma-Derived and Urine-Derived Medicinal Products (2003年2月通知)の修正版。 | |
| 2004/09/09 | 40455 | 東菱薬品工業株式会社 | ヘモアグラーーゼ注射液 | ヘモアグラーーゼ | 蛇毒 | | 有効成分 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/09 | 40456 | 東菱薬品工業株式会社 | ソルコセリル | ソルコセリル | 幼牛血液 | オーストラリア、ニュージーランド | 有効成分 | 有り | 無し | 無し | 原虫性消化管感染 | Veterinary Parasitology, 120, 235-242, 2004/03/25 | Blastocystis属について、ヒト、靈長類、牛、豚、鳥類、げっ歎類から短利したものを分子的・系統発生学的に分析した結果、人畜共通感染する可能性が示唆された。 | |
| | | | | | | | | | | | 微胞子虫類感染 | Parasitology Research, 92(4), 2004, 328-334 | 糞便試料の分析で、微胞子虫Enterocytozoon bieneusiが確認された。牛から分離された遺伝子は、5つの遺伝子型に分類された。ヒトや他の家畜から分離されたものの遺伝子型と同様だったので、E. bieneusiは人畜共通感染の可能性がある。 | |
| | | | | | | | | | | | ボツリヌス中毒 | Veterinary record, 154(23), 734-735, 2004/01/05 | イギリスで牛のボツリヌス中毒と思われる症例が認められた。家畜への感染を予防するために家禽の飼育状況及びそれに関わる者の取り扱いについて規制を設けるよう、研究機関が要望。 | |
| 2004/09/10 | 40457 | 日本シェーリング株式会社 | レビパリンナトリウム | レビパリンナトリウム | ブタ小腸粘膜 | 中華人民共和国 | 有効成分 | 有り | 無し | 無し | 炭疽 | ProMED mail-post, 20040204.0419 (ITAR-TSS) | ロシアで仔豚から炭疽が見つかり、仔豚に接触した4名が炭疽の疑いで入院した。 | |
| | | | | | | | | | | | ニパウイルス・ヘンドラウイルス | ProMED-mail, 20040206-0431 (The Nation City News) | バングラデシュで起きている原因不明の死亡(20名)についてWHOとCDCの専門家が調査した結果、ニパウイルスとヘンドラウイルスの近縁の新種ウイルスが原因と考えられた。(参考文献Health and Science Bulletin, 1(5), 2003) | |
| | | | | | | | | | | | パンコマイシン耐性腸球菌感染 | Animal Science Journal, 74, 521-523, 2003 | 日本のブタの糞便からVREが検出された。感染源・感染ルートは不明である。 | |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 |
|------------|-------|----------------|--|----------------|------------|---|------|----|----|--------|-----------------|---|--|
| 2004/09/10 | 40458 | 財団法人阪大微生物病研究会 | コレラワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン | スキムミルク | ウシの乳 | 米国、オーストラリア、ニュージーランド | 製造工程 | 有り | 無し | 無し | ウイルス感染 | 動物医薬品検査所年報、40, 2003, 21-23 | 日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。 |
| 2004/09/10 | 40460 | 財団法人阪大微生物病研究会 | ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン | ウシの肝臓 | ウシの肝臓 | 日本、米国、オーストラリア、ニュージーランド (日本及び米国産の原材料は次回種菌培養より使用しない) | 製造工程 | 有り | 無し | 無し | ウイルス感染 | 動物医薬品検査所年報、40, 2003, 21-23 | 日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。 |
| 2004/09/10 | 40461 | 財団法人阪大微生物病研究会 | ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン | ビーフハートインフュージョン | ウシの心臓 | インド、オーストラリア、ニュージーランド | 製造工程 | 有り | 無し | 無し | ウイルス感染 | 動物医薬品検査所年報、40, 2003, 21-23 | 日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。 |
| 2004/09/10 | 40462 | 財団法人阪大微生物病研究会 | ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリアは嘔風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきワクチン | ポリペプトン | ウシの乳 | ニュージーランド | 製造工程 | 有り | 無し | 無し | ウイルス感染 | 動物医薬品検査所年報、40, 2003, 21-23 | 日本国内に流通している組織培養用牛由来血清について、牛ポリオーマウイルスによる汚染率を遺伝子の検出を指標に調査した結果、50%以上の高率で汚染されていることが示された。 |
| 2004/09/14 | 40463 | アボットジャパン株式会社 | レビパリンナトリウム | レビパリンナトリウム | ブタ小腸粘膜ヘパリン | 中国 | 有効成分 | 有り | 無し | 無し | 炭疽 | ProMED, 20040205-0080 (ITAR-TSS) | ロシアで仔豚から炭疽が見つかり、仔豚に接触した4名が炭疽の疑いで入院した。 |
| | | | | | | | | | | | パンコマイシン耐性腸球菌感染 | Animal Science Journal, 74, 521-523, 2003 | 日本のブタの糞便からVREが検出された。感染源・感染ルートは不明である。 |
| | | | | | | | | | | | ニパウイルス・ヘンドラウイルス | ProMED-mail, 20040206-0431 (The Nation City News) | バングラデシュで起きていた原因不明の死亡(20名)についてWHOとCDCの専門家が調査した結果、ニパウイルスとヘンドラウイルスの近縁の新種ウイルスが原因と考えられた。(参考文献Health and Science Bulletin, 1(5), 2003) |
| 2004/09/15 | 40464 | 財団法人化学及血清療法研究所 | ジフテリアトキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ワイルド病治療血清 ジフテリア破傷風混合トキソイド | 血清 | ウマ血液 | | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 |
|------------|-------|----------------|---|--------------------|-----------------|--------|------|----|----|--------|---------|----|----|
| 2004/09/15 | 40465 | 財団法人化学及血清療法研究所 | コレラワクチン | ハートインフージョン ブイヨン | ウシ乳・心臓 | | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40466 | 財団法人化学及血清療法研究所 | コレラワクチン | ハートインフージョン アガー | ウシ乳・心臓 | | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40467 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 乾燥はぶウマ抗毒素 | はぶウマ抗毒素 | ウマ血液 | 日本 | 有効成分 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40468 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 乾燥まむしウマ抗毒素 | まむしウマ抗毒素 | ウマ血液 | 日本 | 有効成分 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40469 | 財団法人化学及血清療法研究所 | ワイル病治療血清 | 血液 | モルモット血液 | | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40470 | 財団法人化学及血清療法研究所 | ワイル病治療血清 | 肝臓 | モルモット肝臓 | | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40471 | 財団法人化学及血清療法研究所 | インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン | 発育鶏卵 | ニワトリ発育鶏卵 | 日本 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40472 | 財団法人化学及血清療法研究所 | ワイル病治療血清 | 血清 | ウサギ血液 | | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40473 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 乾燥はぶウマ抗毒素 乾燥ジフテリア抗毒素 沈降精製百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風 混合ワクチン 乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ボツリヌス抗毒素 乾燥ガスえそ抗毒素 ガスえそウマ抗毒素 | ペプシン | ブタ胃 | アメリカ | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40474 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 沈降精製百日せきジフテリア破傷風 混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 破傷風トキソイド | ハートエキス | クジラ心臓 | 捕鯨国:日本 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40475 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 乾燥はぶウマ抗毒素 | はぶ毒 | ハブ毒素 | 日本 | 原材料 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40476 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 乾燥まむしウマ抗毒素 | まむし毒 | マムシ毒素 | 日本 | 原材料 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40477 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン | 脳 | マウス脳 | 日本 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40478 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 乾燥弱毒性麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン | 乳糖 | ウシ乳 ニュージーランド | | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用指置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 |
|------------|-------|----------------|---|----------------|-----------|------------------------|------|----|----|--------|--|---|--|
| 2004/09/15 | 40479 | 財団法人化学及血清療法研究所 | コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド | スキムミルク | ウシ乳 | アメリカ | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40480 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ワイル病治療血清 破傷風トキソイド | ポリペプトン | ウシ乳 | 中国、ポーランド | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40481 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド | 肝臓 | ウシ肝臓 | 米国、オーストラリア、ニュージーランド、日本 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40482 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 破傷風トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド コレラワクチン ジフテリアトキソイド | 肉 | ウシ肉 | 日本 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40483 | 財団法人化学及血清療法研究所 | 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合 | カザミノ酸 | ウシ乳 | オーストラリア、ニュージーランド | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/15 | 40484 | 大日本製薬株式会社 | コンドロイチン硫酸鉄 | コンドロイチン硫酸ナトリウム | ウシの軟骨(気管) | 米国、メキシコ | 添加物 | 有り | 無し | 無し | クロイツフェルト・ヤコブ病 Proceedings of National Academy of Sciences of the USA, 2004, 101(9); 3065-3070 | THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 422-428 | イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPScとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadic CJDの所見と類似していた。 カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かかった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。 |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 | |
|------------|-------|-----------|--|-----------------|-------|---|------|----|----|--------|---------------|--|---|--|
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421 | 英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。 | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | The Journal of Clinical Investigation, 113(10), 2004, 1465-1472 | スクレイピー感染ヒツジ由来試料をハムスターに経口投与した場合、異状症状の発現する直前に筋肉内に異常プリオントンパクが検出され、異常プリオントンパクが大量になると異状症状を呈した。 | |
| | | | | | | | | | | | ウエストナイルウイルス | CDC MMWR, 53(13); 281-284, 2004/04/09 | 輸血後WNV感染が認められたことについて。WNV感染者の80%は無症候であり、低濃度の場合はNATスクリーニングをすり抜ける可能性がある。 | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040319-0090 (Eurosurveillance Weekly, 8(10), 2004/03/18) | 英国は、1980年1月1日以降に英国で輸血を受けた人は献血を禁止する措置を2004年4月5日に施行した。 | |
| 2004/09/16 | 40485 | 社団法人北里研究所 | ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン | ウマ血清 | ウマ血液 | ①~③米国、 ④~⑥不明 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/16 | 40486 | 社団法人北里研究所 | 日本脳炎ワクチン | マウス脳乳液 | マウス脳 | ①②日本、③④不明 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/16 | 40487 | 社団法人北里研究所 | ジフテリアトキソイド 日本脳炎ワクチン | ゼラチン | ウシの骨皮 | 不明 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/16 | 40488 | 社団法人北里研究所 | 乾燥痘そうワクチン | ウシ表皮 | ウシ | 不明 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/16 | 40489 | 社団法人北里研究所 | 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン | 乳糖 | ウシ乳 | ①ニュージーランド、米国②③オランダ、ドイツ、ベルギー、ルセントルク、ニュージーランド | 添加物 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/16 | 40490 | 社団法人北里研究所 | 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン | ウシ胎児血清、新生仔牛血清 | ウシ血液 | ①③ニュージーランド、②ニュージーランド、オーストラリア | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/16 | 40491 | 社団法人北里研究所 | ジフテリア破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン | ハートエキス | クジラ心臓 | 不明 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/16 | 40492 | 社団法人北里研究所 | 乾燥弱毒生風しんワクチン | ウサギ腎初代培養細胞 | ウサギ腎臓 | 日本 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/16 | 40493 | 社団法人北里研究所 | 百日せきワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン | ウマ脱纖維血 | ウマ血液 | ①②ニュージーランド、③④⑤不明 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |
| 2004/09/16 | 40494 | 社団法人北里研究所 | 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン | ラクトビオン酸エリスロマイシン | ウシ乳 | ニュージーランド、カナダ、米国 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用指置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 |
|------------|-------|--------------|---|----------------|----------|---|------|----|----|--------|---|--|----|
| 2004/09/16 | 40495 | 社団法人北里研究所 | 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン | ラクトアルブミン水解物 | ウシ乳 | オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、米国 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/16 | 40496 | 社団法人北里研究所 | コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン | ペプトン | ウシ乳 | ①ボーランド、中国、ニュージーランド、オーストラリア ②⑤ボーランド、中国、ニュージーランド | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/16 | 40497 | 社団法人北里研究所 | 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド コレラワクチン 沈降破傷風トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド | スキムミルク | ウシ乳 | 米国 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/16 | 40498 | 社団法人北里研究所 | コレラワクチン | ビーフエキストラクト | ウシ筋肉 | 米国・オーストラリア | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/16 | 40499 | 社団法人北里研究所 | 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン 沈降精製百日せきワクチン コレラワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン | カザミノ酸 | ウシ乳 | ①～③ニュージーランド、オーストラリア ④～⑥不明 | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/16 | 40500 | 社団法人北里研究所 | コララワクチン | ウシ心臓抽出物 | ウシ心臓 | 米国/オーストラリア/ニュージーランド | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | |
| 2004/09/16 | 40501 | 東和薬品株式会社 | | コンドロイチン硫酸ナトリウム | ウシの気管抽出物 | アメリカ | 添加物 | 有り | 無し | 無し | クロイツフェルト・ヤコブ病 Proceedings of National Academy of Sciences of the USA.オンライン版、2004/02/16 | イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPScとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadic CJDの所見と類似していた。 | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421 | THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421 英國で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。 | |
| 2004/09/16 | 40502 | 日本シェーリング株式会社 | インターフェロンベーター1b(遺伝子組換え) | 人血清アルブミン | 人血液 | 米国 | 添加物 | 有り | 有り | 無し | 重症急性呼吸器症候群 ProMED, 20040131-0080 (NY Times, 2004/01/30) | 中国の研究者によるScience誌の報告では、SARSが極めて迅速に動物の病原体からヒト細胞への感染能力を獲得した病原体に変異したことを明らかにした。 | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 ProMED, 20040203-0060 (英國保健省、United Press International) | 2002年2月2日における英國のCJD患者数は、vCJD確定死亡例103例。米国でアルツハイマーあるいは痴呆症と死亡診断を受けた患者の3～13%がCJDの可能性がある。 | |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 感染症(PT) | 出典 | 概要 | | |
|------------|-------|----------------------|------------------|----------------------|--------------|-----------------------|------|------|----|--------|---------------|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | | | | コロナウイルス | Nature Medicine,10(4), 368-373, 2004/04/01 | オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCoV-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。 |
| 2004/09/16 | 40503 | ファイザー株式会社 | ダルテパリンナトリウム | ダルテパリンナトリウム | ブタの腸 | 米国 | 有効成分 | 無し | 無し | 無し | | | | | |
| 2004/09/17 | 40504 | 日本ビーシージー製造株式会社 | 精製ツベルクリン | 全卵 | ニワトリの卵 | 日本 | 製造工程 | 有り | 無し | 無し | インフルエンザ | www.nature.com/news/2004/040628-13 | 1999~2002年の間に分離したH5N1株21検体を用いた動物実験では、2001年と2002年のウイルスはそれ以前の年に分離されたウイルスよりも、病原性が高い。 | | |
| 2004/09/17 | 40505 | 日本ビーシージー製造株式会社 | 精製ツベルクリン | 乳糖 | ウシの乳 | オランダ、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルク | 添加物 | 有り | 無し | 無し | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Nature Medicine,10(6), 591-593, 2004 June | フランスの研究グループによると、スクレイビーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオントンパクが少量であるが蓄積する。異常プリオントンパクの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。 | | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | Preventive Veterinary Medicine 63, 135-149, 2004 | BSE感染牛から作られた牛脂を用いた牛乳代用品を、生後7週間子牛に与えた。汚染された牛乳代用品の許容純度と脊髄のBSE感染物質が関係している可能性がある。 | | |
| 2004/09/14 | 40506 | 株式会社フジモト・ダイアグノスティックス | | ワクシニアウイルス接種家児炎症皮膚抽出液 | 日本白色種家児皮膚抽出液 | 中国 | 有効成分 | 無し | 無し | 無し | | | | | |
| 2004/09/21 | 40507 | わかもと製薬株式会社 | ウロキナーゼ | | ウロキナーゼ | 人尿 | 中国 | 有効成分 | 有り | 無し | 重症急性呼吸器症候群 | 厚生労働省HP, 2004/05/27 | 2004年に中国でSARS感染例が9例あった。 | | |
| | | | | | | | | | | | 重症急性呼吸器症候群 | The New England Journal of Medicine, 350(17), 1731-1739, 2004 | 2003年香港の集合住宅で起きたSARS流行について、居住場所と感染頻度との関係を空気の流れによって説明できる。 | | |
| | | | | | | | | | | | HIV | UNAIDS, 2004 Report on the global AIDS epidemic, 2004/07/06 | HIV感染は2003年に480万人が感染した。特にアフリカでの新規感染が6割を占める。HIV感染の現状と対応策など。 | | |
| | | | | | | | | | | | ウェストナイルウイルス | CDC MMWR, 53(33); 770-771, 2004.08.27 | 2004年は、8月24日までに32州から843例のWNV感染者がCDCに報告された。 | | |
| 2004/09/21 | 40508 | わかもと製薬株式会社 | ウロキナーゼ | 人血清アルブミン | 人血液 | 日本 | 添加物 | 有り | 有り | 有り | 重症急性呼吸器症候群 | 厚生労働省HP, 2004/05/27 | 2004年に中国でSARS感染例が9例あった。 | | |
| | | | | | | | | | | | HIV | UNAIDS, 2004 Report on the global AIDS epidemic, 2004/07/06 | HIV感染は2003年に480万人が感染した。特にアフリカでの新規感染が6割を占める。HIV感染の現状と対応策など。 | | |
| | | | | | | | | | | | ウェストナイルウイルス | CDC MMWR, 53(33); 770-771, 2004.08.27 | 2004年は、8月24日までに32州から843例のWNV感染者がCDCに報告された。 | | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27), 04/07/23) | イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、ブリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。 | | |
| 2004/09/21 | 40509 | 田辺製薬株式会社 | インフリキシマブ(遺伝子組換え) | マウス骨髓腫由来細胞 | マウス骨髓腫 | | 製造工程 | 無し | 無し | 無し | | | | | |
| 2004/09/21 | 40510 | 田辺製薬株式会社 | インフリキシマブ(遺伝子組換え) | ウシ蛋白加水分解物 | ウシ臍臓、ウシ血液 | 米国 | 製造工程 | 有り | 無し | 無し | 原因不明の死亡 | ProMED, 20040314-0090, 04/03/13 | ワイオミング州で野生のシカ約300頭が原因不明の疾患に罹患し、約200頭が安楽死処分となった。 | | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | CDR Weekly, 14(12), 04/03/18 | 英国保健省は1980年以降に輸血を受けた人は献血できなくなる措置を2004年5月から実行する。 | | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040319-0010, 04/03/19 (The Guardian) | 米国農務省は、初のBSE症例が発見されたことに内応して、BSE検査を行う個体数を現在の10倍に増やすことを計画している。 | | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040409-0060, 04/04/09 (The Billings Gazette, CDC) | CDCのこれまでの調査では、CWDヒトとの因果関係を示唆する明確な証拠は確認されていないが、ヒトにCWD原因ブリオンの感染伝播が起こりうる可能性がある。 | | |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED, 20040415-0030 (Reuter News, 2004/04/09) | 米国農務省は牛肉生産者が自主的に行う飼育牛の全頭検査を認めない方針。 | | |

| 受理日 | 番号 | 報告者名 | 一般名 | 生物由来成分名 | 原材料名 | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正使用措置 | 概要 |
|------------|-------|----------|------------------|-----------|------|--------|------|----|----|--------|---|
| | | | | | | | | | | | 概要 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 WHO Media Centre News, 04/05/05 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 FDA Immediate Release Statement, 04/05/04 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 ProMED, 20040512-0080 (SACBEE News, |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 ProMED, 20040519-0050 (Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004) |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 AABB Weekly Report, 10(23), 04/06/18 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 EMEA/CPMP/BWP/2879 /02/rev1, June 23 2004 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 ProMED, 20040620-0050, 04/06/17 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 AABB Weekly Report, 10(24), 04/06/25 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 AABB Weekly Report, 10(25), 04/07/02 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 AABB Weekly Report, 10(25), 04/07/02 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 ProMED, 04/07/14 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 AABB Weekly Report, 10(26), 04/07/16 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27), 04/07/23) |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 Science, 305, 673-676, 04/07/30 |
| | | | | | | | | | | | 炭疽 ProMED, 20040801-0030, 04/08/01 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 ProMED, 20040806-0020, 04/08/06 (Reuters) |
| 2004/09/21 | 40511 | 田辺製薬株式会社 | インフリキシマブ(遺伝子組換え) | ウシ血清アルブミン | ウシ血液 | 米国、カナダ | 製造工程 | 有り | 無し | 無し | 原因不明の死亡 ProMED, 20040314-0090, 04/03/13 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 CDR Weekly, 14(12), 04/03/18 |
| | | | | | | | | | | | クロイツフェルト・ヤコブ病 ProMED, 20040319-0010, 04/03/19 (The Guardian) |
| | | | | | | | | | | | 米国農務省は、初のBSE症例が発見されたことに内応して、BSE検査を行う個体数を現在の10倍に増やすことを計画している。 |